

第55回総会・懇親会 6月11日(土) / 課題メモ・森本

1. 検討

●要素1：愛のリレーの予定

- ・開催の可否を 4月上旬には決定したい。

∵今年第44号会報「あがた」、総会案内チラシ、返信葉書が4/12入稿なので。

- ・情報では今年も秋口に時期が変更される議論が出ている様子で、今年も会報「あがた」の完成と愛のリレーとは直接の関係はなくなる見込み。

●要素2：会場との関係（キャンセル料）

- ・6/11の61日前4/10以降のキャンセルは、延期開催の予約ができればキャンセル料は発生しない。ただ、4/11以降5/10までになされる「中止」は室料（富士の間のみであり控室はカウントしていない）の20%（約7.8万円）のキャンセル料を支払わなければならない。

⇒4/10（日）までに判断だが、会報の総会・懇親会案内記事を考えると遅くとも3月一杯に判断したい。昨年は4月2日頃アルカディア通常参集を中止した。

- ・規模縮小の場合：いずれも着席定員
3階富士の間半分 255㎡：140人
5階大雪もしくは穂高：110人
6階阿蘇もしくは霧島：110人

●参考：損益検討

条件 参加人数：x 変動費：飲食代 飲みもの@1,100円、食事@4,900円として

＜試算1：第52回のような通常開催＞富士の間開催 損益分岐 205人

収入の部

会費 @9,500円、ご祝儀+寄付=22万円

支出の部

固定費：会場費 33.7万円（富士の間（実行委員会引継ぎ会場も）

会場諸経費：9.3万円+酒持込費 3万円

引継ぎ経費：15万円

総会関係費用（案内、土産宿泊、車代、イベント、配布物印刷等）：26万円

実行委員会費用：7万円

- ・収支バランス

$9,500x + 22 \text{万円} > 6,000x + 94 \text{万円} \quad \therefore x > 205$ 205人以下の参加だと欠損

＜試算2：支出抑制＞富士の間開催 支出抑制案 損益分岐 168人

収入の部

会費 @9,000円（若手少しでも増えて）、ご祝儀+寄付=10万円

支出の部

固定費：会場費 33.7万円（富士の間（実行委員会引継ぎ会場も）

会場諸経費：6万円+酒持込費 3万円

引継ぎ経費：10万円

総会関係費用（案内、土産宿泊、車代、イベント、配布物印刷等）：12万円

(車代、土産宿泊 5.7 万円、持ち込み酒 0 によって約 15 万円縮減)
実行委員会費用：7 万円

・収支バランス

$9,500x + 10 \text{ 万円} > 6,000x + 69 \text{ 万円} \quad \therefore x > \yen 168$ 168 人以下の参加だと欠損

・今後アルカディアと具体的な予算検討を行う。

2. 選択肢

① 3 年前までのような形式 (全集合で) 実施する

・コロナ渦、常連も一堂に会する会場への参加は躊躇する方も多と思われるなか、
200 人集まるか。

第 48 回 (37 回黒田期) 306 人うち 37 同期 51 人

第 51 回 (40 回西村期) 313 人うち 40 同期 72 人

第 52 回 (41 回伊藤期) 251 人うち 41 同期 31 人

(実行委員会同期の松本から来ているのをそれぞれ 30 人、50 人、15 人とする松本からの同期応援参加を除く参加者はそれぞれ 220、263、236)

① 延期して規模を縮小し別日に開催する

・会場規模縮小はあるかもしれないが、期日の延期は考えない。

日時変更案内、意向確認を再度行うことはあまりに負担が大きいし、延期して状況が好転する保証もない。

② 通常参集開催を中止する場合

・一昨年のように中止とする場合に何をするか

・昨年のような Zoom などオンライン開催の場合。

同じことをやっても仕方がない。どのような趣向でできるか。昨年同様の拠点をイメージしたとして、ゲスト 20 画面による近況やりとりで代わる企画は何か。テレビ松本をあてにするわけにいかない。

通常開催を考えた場合と、昨年並みにした場合の両方を検討していくしかない。